

いずみ

令和5年度 7月号
図書委員会 2年2組
武井幸太郎 ・ 大西結季



期末考査も終わり、ほっと一息という人も多いことでしょう。もうすぐ夏休みですね。夏休みの課題の1つに読書感想文があります。お気に入りの本を選んで、読書感想文に取り組んでみましょう。本選びに迷っているなら、2023年の課題図書を選んでみてはどうでしょう。どれも心を揺さぶられる作品で、あなたにとって忘れられない一冊になると思います。

《2023課題図書》



◆『ラブカは静かに弓を持つ』 著：安壇美緒(集英社)

武器はチェロ。潜入先は音楽教室。傷を抱えた美しき潜入捜査員の孤独な闘いが今、始まる。

『金木犀とメテオラ』で注目の新鋭が、想像を超えた感動へ読者を誘う、心震える“スパイ×音楽”小説！

少年時代、チェロ教室の帰りにある事件に遭遇し、以来、深海の悪夢に苛まれながら生きてきた橘。ある日、上司の塩坪から呼び出され、音楽教室への潜入捜査を命じられる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠をつかむこと。橘は身分を偽り、チェロ講師・浅葉のもとに通い始める。師と仲間との出会いが、奏でる歓びが、橘の凍っていた心を溶かしだすが、法廷に立つ時間が迫り……

◆『タガヤセ！日本：「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』 著：白石優生(河出書房新社)

官僚 YouTuber としてメディアにも登場する著者が最新の農業から、実はスゴイ日本の農作物や日本の農業の未来までを語る1冊。

◆『昆虫の惑星：虫たちは今日も地球を回す』 著：アンヌ・スヴェルトルップ＝ティージェソン(辰巳出版)

ノルウェーから届いた、「知ること」の楽しさに満ちたネイチャー・ノンフィクション。私たちヒトは、昆虫に包囲されている——女性昆虫学者が語る奇妙で、美しく、風変わりな虫たちの話。プラスチックを食べるミールワーム、食べ物や日用品に貢献するミツバチ、傷を癒すニクバエ、農耕や牧畜をするアリ、子煩悩なハサミムシ、水中で音楽を奏でるミズムシ…虫が苦手という人は多いが、虫の世話になっていない人は地球に1人もいない。

あなたの知らないところで黙々と仕事をしている昆虫たち—そんな昆虫たちのめくるめく世界へと誘う、「知ること」の楽しさに満ちたネイチャー・ノンフィクション。

★★令和5年度 第1回ブックショッピングのお知らせ★★

図書委員会の有志メンバーを中心に、北高生に読んでもらいたい本を購入に行きます。みんなの心に刺さる本と一緒に探しに行きましょう！

- 日時 7月14日（金）12:30～13:30 現地集合・現地解散
(午前中3時間授業・大学出張講義・学部説明会・保護者懇談会)
- 場所 ジュンク堂 松山三越店(松山三越5階) (089)915-0075
- 参加者 8名程度 (図書委員・初参加の人を優先)(1人あたり 約5,000円購入できます。)
- 備考
 - ・購入したい本をなんとなく考えておく。(漫画・雑誌・ラノベは除く)
 - ・図書館の本と重複しないように、事前に確認しておく。
 - ・都合が悪くなった場合は早めに連絡をする。
 - ・部活動に入っている人は、顧問の先生に事前に許可をもらうこと。
 - ・懇談会の日なので、懇談と重ならないように注意すること

※希望者は、7月10日(月)までに図書館 曽我部まで申し込んでください。



～学年主任の先生方にお薦めの本をお聞きしました～



1年主任 渡邊豊先生(地歴)

『運転者 未来を変える過去からの使者』 著:喜多川 泰

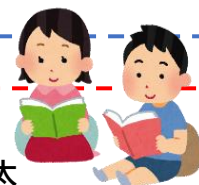
個人的には「啓発本」に分類される本はあまり得意ではありません。でも、この本は、コロナ禍の中で私たちが忘れそうになっている「運が良い」「運が悪い」のではないそうです。気になる人は手に取って、是非、ページをめくってみてください。



2年主任 山下憲人先生(国語)

『ちくま日本文学12 中島敦』 著:中島 敦

中島敦の小説「山月記」は長く高校教科書に採録され、世代を超えて、愛されてきた作品です。私自身も初めて読んだときの衝撃をよく覚えています。「山月記」をきっかけに、そのほかの中島敦作品を読んできましたが、そのたびに考えさせられるのは、「人間の生きる意味」についてです。高校時代に出会っておくべき一冊として、おすすめします。



3年主任 秋川志保先生(英語)

『君たちが生き延びるためにー高校生との22の対話ー』 著:天童荒太

北高の先輩である天童荒太さんが、北高創立120周年のときに生徒からの質問に答える形式で講演動画を作成してくださいました。その反響が大きく、ついに1冊の本になりました。3年生の皆さんが1年生の時のことです。「ぎりぎりだと感じている高校生に伝えたいことは?」「自分の思いはどうすれば伝わりますか?」「コミュ力なくてもいいですか?」どんな答えが書いてあるか、ぜひ読んでください。



《図書委員おススメの本 part3》

書名	作者名	お薦めの理由	図書委員	
黒猫の小夜曲	知念実希人	ミステリーありファンタジーありの作品。読んでいてワクワク感がありながらもラストには心温まるから。	307	増田美遙
「余命一日と宣言された僕が、余命半年の君と出会った話」	森田碧	自分は表紙の絵にひかれ、この本を手に取りました。この本は主人公が病気で余命宣告をうけ、通院先で出会った余命わずかな女子と「期限付きの恋」をするお話です。究極の純愛ストーリーにとっても感動します。この話とつながりのある話も何個もあるのであわせて読んでみてください。	308	穂道結衣
表参道高校合唱部	桑畑絹子	中学校からの愛読本で、内容が濃く、ドラマもあったので親しみやすくとても良い本だと思います!文章量もそこまで多くなくて、分かりやすい日常話で楽しめるので是非読んでほしいです。	308	大崎かのん
あの日みた花の名前を僕たちはまだ知らない	岡田磨里	仲良しだった幼馴染5人が大人になるにつれて疎遠になってしまうけれど、とある事件をキッカケに再会し、お互いの本心をさらけ出しながら認め合っていく所に感動し普段泣かない自分でも号泣した。アニメ化もされていて本が苦手な人でも読んでみたいと思える。	309	石川楓太
ライオンのおやつ	小川糸	私は、今まで本を読んでこんなにも涙を流したことはないくらいこの作品を読んで泣きました。本の舞台は瀬戸内のホスピタルで新しく入った主人公がおやつの時間や入居者の方たちと話すうちに自分の死について考えていくお話です。おやつの時間には入居者のリクエストに沿ったスイーツが出てくるので、なにげないおやつもリクエストした人には抱えきれない思い出があることに感動しました。「死」がテーマの物語ですが、死について前向きに考えていたり、細かな美しい表現がたくさん出てくるので、温かい空気につつまれるような心落ち着く作品です。	309	高橋みこと